



1

■「ライブラリ」などのリボンメニューに表示される「OutLookの接続」ボタンなどについて

ライブラリなのの上段に表示されるリボンメニューの「OutLookの接続」、「RSSフィード] 「ライブラリの編集」ボタン動作が機能せず、以前と異なっていますが、仕様変更なのか或いは不具合なのかご回答、まだ代替案があればご教授ください。

●ドキュメントライブラリの場合 [OutLookの接続]ボタン ⇒モダンUIではクラシックUI上段のリボンメニューの「OutLookに接続」機能は提供されているのか。 ⇒クラシックUIでリボンメニューを表示させ、「OutLookに接続」ボタンをクリックしたが動作しない。 また、他PCで他テナントでの検証は、昔とは異なり「シンタックスエラー」となる。 ← 既読·未既読 ●カスタムリストの場合「RSSフィード」ボタン ⇒モダンUIではクラシックUI上段のリボンメニューの「OutLookに接続 |機能は提供されているのか。 ⇒クラシックUIデリボンメニューヲ表示させ、「RSSフィード IボタンをクリックするとRSSフィード画面には遷移したがが、「このRSSフィードを購読 Iリンクを クリックしてもなにも動作しない。

また、他PCで他テナントでの検証は、「RSSフィード」ボタンをクリックすると、RSSフィード画面には遷移したが、OutLookへの連動データは1件だけ 表示されるなど正常に作しない。

●「ライブラリの編集」ボタン、Windws10のStartメニュー「SharePointDesogner2013」リンク ← バージョンり管理設定 ⇒検証PC環境: SharePointDesogner2013(SP1含む)をインストール済

⇒テナント側:Windows デバイスで Office 2013 の先進認証を有効済、カスタム スクリプトを許可済 ライブラリの編集」ボタンのクリック動作で、テナントごとに動作が異なるため、上記設定で洩れていること、プロキシ設定で配慮する事を教えてほしい

【クラシックUI リボンメニュー】

【モダンUI ドロップダウンメニュー】

ᆕ すべてのド‡
セスにピン留めする
ポート
>
,
管理
≓ セスにピン ボート

Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー: 村木 健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー: 菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

← 既読·未既読





[Case #:35236896] Microsoft 365 サポートからのご連絡 2023/02/24 (金) 19:38

お客様よりお伺いいたしました情報をもとに、現在調査を行っております。 大変申し訳ございませんが、回答または進捗状況のご報告までに、今しばらくご猶予賜りますようお願い申し上げます。 - 次回連絡予定 - 進捗状況を含め、2 月 28 日 までに弊社からご連絡を差し上げます。 進捗状況を含め、2 月 28 日 までに弊社からご連絡を差し上げます。

<サポート担当者とのご連絡方法>

チケット オープン中にエンジニアとのお電話でのやりとりをご希望される際は、サポートからのメールへのご返信、もしくは管理センターのサポート チケットからコメントの追加にてご 都合の良いお時間帯をお知らせください。メールでのご連絡、回答を希望される場合、ご登録いただいておりますメール アドレスにご連絡差し上げます。

お問い合わせの履歴						
下でチケットを選択すると、詳細を表示できます。						
」 お問い合わせのエクスポート () 更新					▶ 検索	
フィルターを設定しました: × すべてクリア						
作成者:自分 🗸 🗙 状態: すべて 🗸						
✓ 自分						
肩書き		日付 ↓	チケット番号	作成者	状態	製品
「ライブラリ」などのリホンメニューに表示される「OutLookの接続」ホタンなどについて	÷	2023/2/24	35236896	makino yoshikazu	担当者を割り当…	SharePoint
拡張リッチテキスト列のEXCEL表部をコピーした時の動作について		2023/2/13	35058809	makino yoshikazu	終了	SharePoint
携帯端末でOutLookで本文にドキュメントのURLを記載した時のの添付ファイル化の操作方法について	:	2023/2/8	34990415	makino yoshikazu	終了	Outlook

Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木 健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー: 菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com





[Case #:35236896] Microsoft 365 サポートからのご連絡 2023/03/01 (水) 9:58

[お問い合わせの内容]

- 1. ドキュメントライブラリの場合 [OutLookの接続]ボタン
- ⇒モダンUIではクラシックUI上段のリボンメニューの「OutLookに接続」機能は提供されているのか。 ⇒クラシックUIでリボンメニューを表示させ、「OutLookに接続」ボタンをクリックしたが動作しない。
 - また、他PCで他テナントでの検証は、昔とは異なり「シンタックスエラー」となる。
- 2. カスタムリストの場合「RSSフィード」ボタン
- ⇒モダンUIではクラシックUI上段のリボンメニューの「OutLookに接続」機能は提供されているのか。
- ⇒クラシックUIデリボンメニューヲ表示させ、「RSSフィード」ボタンをクリックするとRSSフィード画面には遷移したがが、「このRSSフィードを購読」リンクをクリックしても なにも動作しない。

また、他PCで他テナントでの検証は、「RSSフィード」ボタンをクリックすると、RSSフィード画面には遷移したが、OutLookへの連動データは1件だけ表示されるなど 正常に作しない。

- 3. [ライブラリの編集」ボタン、Windws10のStartメニュー「SharePointDesogner2013」リンク
- ⇒検証PC環境: SharePointDesogner2013(SP1含む)をインストール済
- ⇒テナント側: Windows デバイスで Office 2013 の先進認証を有効済、カスタム スクリプトを許可済、[ライブラリの編集」ボタンのクリック動作で、テナントごとに 動作が異なるため、上記設定で洩れていること、プロキシ設定で配慮する事を教えてほしい。

[回答内容]

■1. ドキュメントライブラリの場合 [OutLookの接続]ボタン

結論から申し上げますと、[Outlook に接続] はクラシック表示のみ可能となるため、モダン UI では実行ができかねる動作でございます。 Outlook に接続の機能につきましては、SharePoint のイベントリストにのみ実装されている認識でございます。 イベントリストは [アプリの追加] - [従来の環境] から追加できる [予定表] アプリです。 イベントリストはクラシック表示のみ可能なリストとなっており、モダン表示にはできない認識でございます。 モダン表示では代替機能として予定表ビューの機能がございますが、こちらでは [Outlook に接続] ボタンが存在しないことを確認しております。 上記調査結果より、現状モダン表示の予定表では [Outlook に接続] 機能は利用できないと判断いたしました。 大変恐れ入りますが、機能上の制限としてご理解賜りますようお願い申し上げます。 また、弊社検証環境ではクラシックUI では正常動作となり "シンタックスエラー" の再現確認ができておりません。 さらなる調査のため以下の問題切り分けを含めた情報を可能な限りお寄せいただきたく存じます。

Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木 健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー:菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com





Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー: 菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

[お寄せいただきたい情報]

- 1. ブラウザの対処方法
- a. InPrivate ブラウズでの事象発生有無の確認

<Google Chrome での確認方法>

- 1. Google Chrome を起動します。
- 2. Ctrl + Shift + N を押下し、キャッシュが影響しない シークレット ウィンドウが起動します。

<Microsoft Edge での確認方法>

- 1. Microsoft Edge を起動します。
- 2. [・・・] [新しい InPrivate ウィンドウ] の順にクリックすることで、キャッシュが影響しない InPrivate モードが起動します。
- b. ブラウザーのキャッシュ クリア後の、事象発生有無

<Microsoft Edge のキャッシュ クリアをする方法>

- 1) Microsoft Edge を起動します。
- 2) 画面上部右側の [他の操作 (…) (設定など)] [設定] の順にクリックします。
- 3) 左側の[プライバシーとサービスプライバシー、検索、サービス] をクリックし、"閲覧データのをクリア" セクションの [クリアするデータの選択] をクリックします。
- 4) [閲覧データのをクリア] 内の [閲覧の履歴]、[Cookie およびその他のサイトデータ]、[キャッシュされた画像とファイル] にチェックをいれ [今すぐクリア] をクリックします。 ※他の項目はチェックを外します。
- 5) [データをクリアしています] から [すべてクリアされました] と表示されましたら、一度起動されているブラウザーを全て閉じます。

<Google Chrome のキャッシュをクリアする方法>

- 1) ブラウザーの右上端にある縦に並んだ点線のアイコンをクリックします。
- 2) メニューより [設定] をクリックします。
- 3) 左側メニューの [プライバシーとセキュリティ] をクリックし、[閲覧履歴データの削除] の順にクリックします。
- 4) [詳細設定] タブをクリックし、"期間" の [▼] から [全期間] を選択します。
- 5) [閲覧履歴]、[ダウンロード履歴]、[Cookie と他のサイト データ]、[キャッシュされた画像とファイル] にチェックを入れます。※他の項目はチェックを外します。
- 6) [データを削除] をクリックし、動作完了後に一度起動されているブラウザーを全て閉じます。

2. 該当 ライブラリ について

他ライブラリでも同様の事象が発生しているなどがあればお知らせください。

3. 該当 サイト について

他サイトで同様の事象が発生しているかお知らせください。

4. 該当 サイト について

該当のサイトがコミュニケーションサイト、チームサイト、Microsoft 365 グループと紐づいていないチームサイトかをお知らせください。





Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー:菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

- 5. 該当エラーについて
- 該当のエラーのスクリーンショットをお寄せください。
- 6. 該当ユーザーついて

※ 複数のユーザーで事象が発生している場合は、概算でのユーザー数と代表して 3 名ほどのアカウントをお知らせください。

- 回答例 1.
- ユーザー数 : 1名
- ユーザー アカウント : User1@contoso.onmicrosoft.com
- 回答例 2.
- ユーザー数 : 3名
- ユーザー アカウント : User1@contoso.onmicrosoft.com
- ユーザー アカウント : User2@contoso.onmicrosoft.com
- ユーザー アカウント : User3@contoso.onmicrosoft.com
- 7. ネットワーク トレース ログ (Fiddler) および、問題ステップ記録ツール (PSR) での記録手順
- お問い合わせのエラー手順について、正確に把握することと合わせ、エラー発生時の HTTPS のレスポンス・リクエスト ヘッダーから問題点や異常がないかを分析するため、 ネットワーク トレース ログ (Fiddler) と問題ステップ記録ツールでの記録 (PSR) の情報採取にご協力をお願い申し上げます。
- ネットワーク トレース ログ (Fiddler) を用いた分析調査については、同時に取得していただきます問題ステップ記録ツールでの記録 (PSR) にて UI 上で操作を実行した タイムスタンプを基に操作手順や動作を確認し、ネットワーク トレース ログ (Fiddler) にてバックグラウンドにおけるクライアントからサーバー間のリクエスト、レスポンスの動作 を突き合わせて確認するためにご提供をお願いしております。
- 以下にご案内いたします操作手順にて、事象発生までのログを取得していただきますようお願い申し上げます。
- ※ マルチディスプレイのご使用やデスクトップ領域の拡張を行っている場合におきましては、恐れ入りますが、一旦 1 つのディスプレイ内にすべての画面が収まるように 変更していただき、以下の操作をご実施くださいますようお願い申し上げます。

▽ 1. "問題ステップ記録ツール" を起動する

- 1) キーボードの [Windows キー] と [R] を同時に押下し、表示されたダイアログの "名前" 欄に psr.exe と入力し、 [OK] をクリックします。
- 2) 問題ステップ記録ツール が起動しましたら、右端の [▼] をクリックし、表示されるメニューから [設定] をクリックします。
- 3) 保存する最新の取り込み画像数 を 25 から 100 に変更し、OK をクリックします。

▽ 2. ネットワーク トレース ログ (Fiddler) を採取する

- Fiddler は、トレースを収集するために http プロキシとして動作するツールです。
- http/httpsのすべてのトラフィックを記録するため、採取時は事象の再現に不要なアプリケーション、サービスは終了していただけますようお願いいたします。
- 採取手順は、以下の公開情報をご確認いただけますようお願いいたします。
- なお、本ツールの利用に際して、ご利用環境によっては、PCの管理者権限が必要となる場合がございますので、ご留意くださいますようお願い申し上げます。





Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー:菅原聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

なお、本ツールの利用に際して、ご利用環境によっては、PC の管理者権限が必要となる場合が ございますので、ご留意くださいますようお願い申し上げます。 タイトル:実行方法 (SaRA) Fiddler Trace アドレス: https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/troubleshoot/diagnostic-logs/run-fiddler-trace [パスコード] B7373FDA

[再現する手順]

Fiddler 採取の準備ができましたら、問題ステップ記録ツールの [記録の開始] をクリックし、以下の手順を開始します。 =- 該当のサイトにアクセスし,今回の事象を再現するための手順を操作,実施をお願いいたします。 ログ採取後に入力したパスワードをメールの返信にてお知らせいただけますようお願いいたします。

◆ 入力したパスワード:

また、"問題ステップ記録ツール" に関しましても [記録の停止] をクリックし、[保存] ボタンより任意の場所へ保存し、弊社までお寄せください。





Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー:菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

■2. カスタムリストの場合 「RSSフィード」ボタン

モダン UI ではクラシック UI 上段のリボンメニューの「OutLookに接続」機能は標準機能として実装がないことを確認いたしましたのでご報告いたします。 誠に心苦しい限りでございますが、現在の機能上の制限である事をご理解賜りますようお願い申し上げます。 SharePoint Online モダンサイトにて RSS をご利用いただくには、Webパーツとしてコネクタ Web パーツをご利用いただくことで可能です。 しかしながら、調査の結果、Microsoft 365 グループに接続されたチーム サイトでのみ利用可能であることを確認いたしました。

モダン UI のコミュニケーション サイトや Microsoft 365 グループに接続されていないサイトはご利用いただけない動作となります。

誠に心苦しい限りでございますが、現在の機能上の制限である事をご理解賜りますようお願い申し上げます。

<参考情報>

タイトル: SharePoint ページで Web パーツを使用

アドレス: https://support.office.com/ja-jp/article/336e8e92-3e2d-4298-ae01-d404bbe751e0

----- 以下抜粋 -----

Connectors Web パーツを使用すると、グループに接続されたチーム サイト ページで、お気に入りの外部サービスからメッセージ、アラート、通知を取得できます。 たとえば、Trello や Facebook などのサービスからの更新を表示できます。RSS フィードに新しい何かが発行されたときにアラートを生成する。

JIRA または GitHub からの通知。Salesforce と Google Analytics の概要も含まれます。

注: Microsoft 365 コネクタ web パーツは、グループに接続されたチームサイトでのみ利用できます。

通信サイトまたは SharePoint Server 2019内のサイトでは使用できません。

----- 抜粋以上 -----

タイトル: コネクタ web パーツを使用する

アドレス: https://support.microsoft.com/ja-jp/office/db0756aa-f78f-4b74-8b19-be5dca0420e1

また、以下にコミュニケーション サイトで RSS フィードを利用するための代替え案についてご案内いたします。

◆ 埋め込み Web パーツについて

モダン UI のページに他のサイトの情報を表示する方法といたしましては、埋め込み Web パーツを使用する方法がございます。 詳細は下記公開情報をご参照くださいますようお願い申し上げます。

<参考情報>

- タイトル:埋め込みの Web パーツを使用した、ページへのコンテンツの追加
- アドレス: https://support.office.com/ja-jp/article/721f3b2f-437f-45ef-ac4e-df29dba74de8
- タイトル: SharePoint Online で web パーツを接続する
- $\mathcal{PFLX}: https://support.office.com/ja-jp/article/b457668c-d843-4b1b-8977-a6f9228a1dec$





Microsoft 365 サポート エンジニア 芳澤 泰志 (ヨシザワ タイシ) SharePoint Online / OneDrive for Business マネージャー:村木健一 | Email: v-kenmu@microsoft.com マネージャー:菅原 聖也 | Email: v-sesuga@microsoft.com

■3. [ライブラリの編集」ボタン、Windws10のStartメニュー「SharePointDesigner2013」リンク

調査いたしました結果、以下情報を確認いたしましたのでご報告いたします。

▽ 先進認証を有効にするレジストリを構成する

以下公開情報にて必要なレジストリの構成をご紹介しておりますので、ご確認をお願いいたします。

<公開情報>

タイトル: Windows デバイスで Office 2013 の先進認証を有効にする

アドレス:https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/admin/security-and-compliance/enable-modern-authentication?view=o365-worldwide また、プロキシに配慮することについて過去事例含め調査いたしました結果、お客様環境において、ドメイン管理者でプロキシ サーバーの利用として制限されているといった環境 の場合、プロキシサーバーの利用を強制されている環境で、プロキシサーバーへの通信で認証が必要な場合、401 エラーが返されてしまう可能性があることを確認しております。 その場合、お手数をおかけしますが事象発生ユーザーにて下記の手順をご確認いただき問題切り分けのためプロキシサーバーの設定を解除いただくことで状況に変化があるか ご確認いただいた結果をお知らせください。

また、プロキシサーバーの設定以外として、可能であれば現在ご利用のネットワークまたは、ドメイン環境以外から SharePoint Designer へ接続した場合には成功する 状況であるか、ご確認いただけますと幸いです。

なお、プロキシサーバーの有無や、プロキシサーバーの設定にかかわるネットワーク環境については、大変恐縮ではございますが、貴社のネットワーク管理者様にも ご確認くださいますようお願い申し上げます。

▼ インターネット オプションの確認

1) [コントロールパネル] - [インタネット オプション] をクリックします。

- 2) [接続] タブをクリックし、[LAN の設定] をクリックします。
- 3) LAN の設定画面で、すべてのプロキシ設定のチェックボックスを外します。

※ 設定されているプロキシサーバーがある場合、設定内容については別途、メモや記録用としてスクリーンショットをご取得いただければ幸いです。

▼ コマンドでの確認

4) 管理者権限でコマンドプロンプトを開始します。

5) 以下のコマンドを実行します。

構文: netsh winhttp show proxy

6) 上記のコマンドの実行結果が [直接アクセス (プロキシ サーバーなし)] のみ表示されることを確認します。

上述以上の情報につきましては、SharePoint Designer は標準機能のサポートを担っている当 Microsoft 365 スタンダード サポート窓口の

サポート対象外となっているため、ご案内が出来かねます。

SharePoint Designer を使用して設定した環境での調査検証の用意ができないことに加え、弊社公開情報においても他情報がございませんでした。 誠に恐れ入りますが、SharePoint Designer に関する詳細につきましては、弊社有償窓口の "マイクロソフト ユニファイドサポート" へご相談いただくことが必要となります。